

経営比較分析表

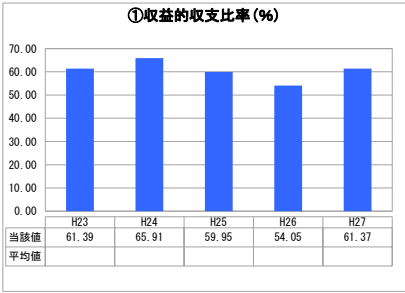
滋賀県 甲良町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	
法非適用	下水道事業	特定環境保全公共下水道	D2	
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20㎡当たり家賃料金(円)
-	該当数値なし	99.93	84.91	2,700

人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
7,427	13.63	544.90
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
7,367	4.09	1,801.22

グラフ凡例
■ 当該団体値(当該値)
— 類似団体平均値(平均値)
【】 平成27年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



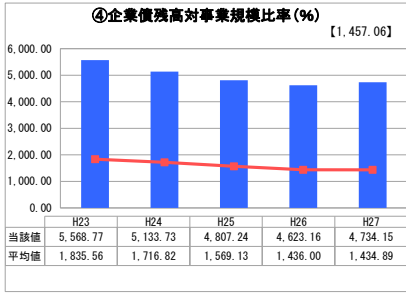
「単年度の収支」



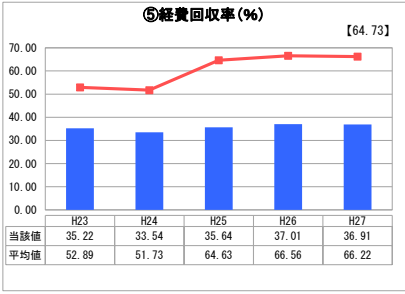
「累積欠損」



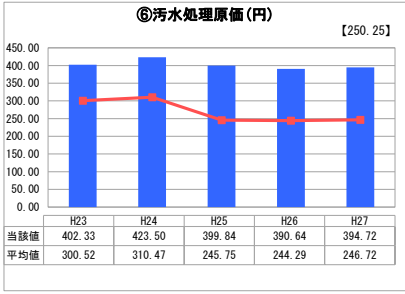
「支払能力」



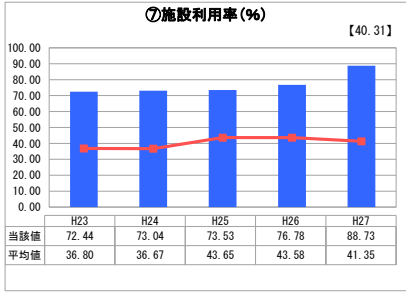
「債務残高」



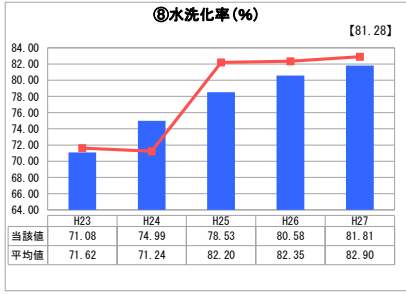
「料金水準の適切性」



「費用の効率性」



「施設の効率性」



「使用料対象の捕捉」

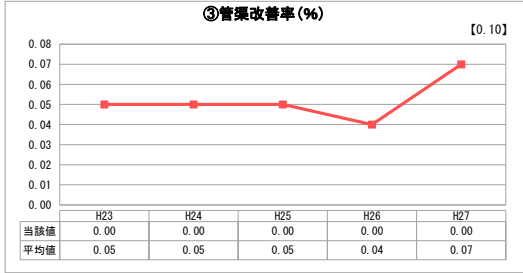
2. 老朽化の状況



「施設全体の減価償却の状況」



「管渠の経年化の状況」



「管渠の更新投資・老朽化対策の実施状況」

分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

収益的収支比率が、昨年度より僅かながら上昇したものの約40%が回収できていない状況続いている。また、企業債残高対事業規模比率は昨年度より若干増加し高い値となっている。経費回収率は、若干増加したものの類似団体平均値より低く、汚水処理原価が逆に高い状況が続いている。普及率がほぼ100%となっている中、水洗化率は若干増加しており、全国平均や類似団体平均と同程度で推移している。

2. 老朽化の状況について

耐用年数を超え早急に更新が必要な管路はなく、将来的には集中した管路の更新や修繕の負担増が考えられ、計画的な更新と財源確保が必要である。

全体総括

経費回収率が100%を切っている点や汚水処理原価が高い状況にあることから、将来の事業継続のための早急な経営改善を検討する必要がある。また、資産の更新・修繕を考えると公営企業会計への移行を進め正確な経営分析を可能にすることが不可欠である。

※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均等を表示していません。
※ 平成23年度から平成25年度における各指標の類似団体平均値は、当時の事業数を基に算出していますが、企業債残高対事業規模比率及び管渠改善率については、平成26年度の事業数を基に類似団体平均値を算出しています。